

議会報告会実施報告書（議長報告用）

開催日時	平成30年11月10日（土） 18:30～19:15
開催場所	清水学習センター（本館研修室）
出席議員及び 役割分担	班 長：大平 洋人 副班長：阿部 亨 司 会：阿部 亨 報告者：（総 務）粕谷 悦功、（文教福祉）梅津 政則 （経済民生）後藤 善次、（建設水道）鈴木 正実 （東京2020オリンピック・パラリンピック）渡辺 敏彦 記録者：真田 広志
参加人数	16人（内訳：男性14人、女性2人）
議会報告会の 報告に対する質疑	報告に対する質疑については、意見交換会にて伺っているため、 「意見交換会の概要」に併せて記載しております。

平成30年11月22日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 4班 班長 大平 洋人

意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	平成30年11月10日（土） 19:15～20:00
開催場所	清水学習センター（本館研修室）
出席議員及び 役割分担	<p>座長：大平 洋人</p> <p>司会：阿部 亨</p> <p>班員：後藤 善次、鈴木 正実、梅津 政則、粕谷 悦功 渡辺 敏彦</p> <p>記録者：真田 広志</p>
参加人数	16人（内訳：男性14人、女性2人）
意見交換会の概要	<p>1. マルチビジョンの設置について</p> <p>Q1：マルチビジョンを設置することだが、西口には情報を表示するものが何もない。費用対効果なども検証の上、西口にも設置すべきではないか。</p> <p>A1：東西両方に新しい大型ビジョンを作る予定である。オリンピック競技を流すことなども含め、現在検討しているところである。それらの効果等も含め、今後さらに検討を進めていく。</p> <p>2. 福島市障がい児福祉計画について</p> <p>Q2：市では福島市障がい児福祉計画を策定し、重度心身障がい児を支援すべく児童発達支援事業所を32年度までに1カ所設けるとされているが、具体的計画があれば聞きたい。また医療的ケア児に対しどのような支援をしていくのか？福島では医療的ケア児を一般障がい扱いとし、重度心身障がいには該当させない、また、医療的ケア児に対し、1認定1事業所に限るという俗に言う「福島ルール」というものが存在し、一つの事業所と契約すると他で受けることが出来なくなるということがあるため、大きな混乱を招いているとの話も聞く。それらの現状を踏まえ、今後どのような取り組みをしていくのか。</p> <p>A2：医療的ケア児に関しては、具体的に踏み込んだ話であり答弁しかねる。せっかくのご意見なので確認させていただくが、いわゆる「福島ルール」といわれる1認定1カ所通所というのは他自治体と比べ特異なものなのか？</p> <p>（A2の反問に対する）答弁：他県では複数個所で利用できると聞いている。福島市では事業所が少ないので一カ所に集中させないようにそうしていると聞いた。利用者からは複数カ所利用したい旨の切実な声も出ている。</p> <p>3. 空き家対策について</p> <p>Q3：静岡市はじめ他自治体では空き家対策が進んでいる。福島市には1万6千戸の空き家があり、空き家対策について具体的に伺う。</p>

A 3 : 高崎市では緊急性のある空き家に関し、解体の助成費用を出すほか、解体して更地となった土地にかかる固定資産税を1年間減免するなど様々な取り組みをしている。当建設水道常任委員会では、「空き家対策」を所管事務調査のテーマとして取り上げ、それら先進地の調査を行い、提言をまとめたところである。今後においても中核市にふさわしい新しい「空き家対策」を講じていけるよう、研究を続けていく。

4. 学校の整備について

Q 4 : 福島市では老人福祉に相当な予算を割いており、特別老人ホームも数多く整備されているにもかかわらず、さらに建設を進めている。それらの予算があれば学校を整備していただきたい。予算面も考慮しながら、小中一貫校をつくってはいかがか。

A 4 : 個人的な意見は申し上げられないが、確かに同一規模の自治体と教育予算を比べた場合決して多くはない。十分に予算措置されていないのは確かである。教育関係施設に関しても、予算に配慮し教育施設と福祉施設の複合設置などの議論も出ている。小中一貫校に関してはご意見として伺っておく。

5. 高齢者福祉関係施設の運営について

Q 5 : 高齢者の福祉関係施設設置には多額の費用がかかるにも関わらず、働く人がいないのは大きな問題。施設を機能的に動かすのが行政の役割。どう考えるのか？

A 5 : 福祉関係の人手不足は深刻。ご意見として承る。

6. 幼稚園の再編について

Q 6 : 幼稚園再編の中身について詳しく教えていただきたい。

A 6 : 例えば福島中央認定こども園移行に関しては、安全性への配慮等様々なご意見を頂いた。委員会でも運営に際しては安全性へ十分配慮することへの確約をとったうえで進めてきた経緯がある。また、蓬萊幼稚園の廃園に関しては存続を求める請願も出されたことから、当局に対しても、市民への更なる丁寧な説明を求めたところである。

7. 道路の安全性について

Q 7 : 電柱が立っているため道幅が狭くなっている道路が身近な場所にも散見されており、交通事故のきっかけにもなりかねない。すぐには対応できないだろうが、問題意識を持って進めていただきたい。

A 7 : ご意見として承る。

8. オリンピックへの市民参加について

Q 8 : オリンピックには期待している。是非成功させたい。市民をいかに参加させるのか伺う。

A 8 : 例えば地域の方々に花を植えていただくなども考えている。多言語の案内板などを含め具体的な内容については今後市民の皆様からご意見を頂きながら考え、共に盛り上げていきたい。

平成30年11月22日
福島市議会議長 様
上記のとおり報告します。

議会報告会 4班 班長 大平 洋人